

平成27年2月3日
とりまとめ担当課
少子化対策・青少年課 内線2392

少子化対策の推進

結婚から出産、育児、教育までを含めた切れ目のない支援により、子どもを産みやすく、育てやすい環境づくりに取り組み、次代を担う子ども・若者を社会全体で支援する総合的な少子化対策を推進します。

【予算額】 46,885,499 千円

1 身近な地域・社会の力で育児・教育を支える

36,136,119 千円

地域における子育て支援サービスや保育サービスの充実を図ります。また、子どもが健やかに育つための教育環境・生活環境の整備に取り組みます。

○ 【新規】第3子以降3歳未満児保育料免除(子育て支援課)	323,824 千円
○ 地域子ども・子育て支援事業(子育て支援課)	422,262 千円
○ 市町村保育給付費負担(子育て支援課)	5,360,250 千円
○ 児童手当(子育て支援課)	4,992,751 千円
○ 放課後児童クラブ運営費補助(子育て支援課)	1,468,480 千円
○ 就学支援金((教)管理課、学事法制課)	4,781,824 千円
○ 奨学のための給付金((教)管理課、学事法制課)	355,639 千円
○ 私立学校教育振興費補助(学事法制課)	6,993,082 千円
○ 【新規】子ども・子育て支援新制度移行支援(学事法制課)	627,134 千円
○ さくらプラン・わかばプラン((教)学校人事課)	1,400,800 千円
○ スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー配置((教)義務教育課)	249,816 千円
○ 児童生徒の心のケアシステム推進((教)高校教育課)	39,283 千円 など

2 すべての母子等の健康と元気を支える

9,964,334 千円

周産期医療や小児医療体制の整備に取り組むとともに、子ども医療費の無料化により子育て中の家庭が安心して健康な生活が送れるよう支援します。また、児童虐待対策やひとり親家庭の支援に取り組みます。

○ 子ども医療費の無料化(国保援護課)	3,958,935 千円
○ 周産期医療対策(保健予防課)	185,835 千円
○ 小児救急医療支援事業(医務課)	127,293 千円
○ 特定不妊治療費助成事業(保健予防課)	227,645 千円
○ 児童相談所体制の強化(子育て支援課)	106,178 千円
○ 児童養護施設等の支援(子育て支援課)	2,210,859 千円
○ 児童扶養手当の支給(子育て支援課)	998,984 千円
○ 【新規】発達障害者支援体制サポート(障害政策課)	3,830 千円 など

3 仕事と生活の調和を支える

325,374 千円

子育てをしながら安心して働くことのできる職場環境づくりや男性の育児参加の促進を図ります。また、子育て中の女性の再就業に向けた支援に取り組みます。

○ 働く女性の活躍推進(労働政策課)	2,500 千円
○ 院内保育施設運営費・施設整備費補助(医務課)	141,654 千円
○ 子育て医師保育支援事業(医務課)	18,030 千円
○ 【新規】離職者等再就職訓練(育児等両立支援コース)(産業人材育成課)	13,941 千円
○ 「ジョブカフェ・マザーズ」の設置(労働政策課)	20,362 千円 など

4 次代を築く若者の家族形成を支える

459,672 千円

社会全体で若者の家族形成を応援する機運を進めるため、結婚応援や就労支援に取り組みます。

○ 家族形成支援(少子化対策・青少年課)	5,969 千円
○ 若者就職全力応援事業(労働政策課)	133,222 千円
○ めがせ正社員！ぐんま若者就職応援プログラム事業(労働政策課)	28,082 千円
○ 産業技術専門校運営(産業人材育成課)	220,335 千円 など